

阿部竜之介 『Pepeの視点』 - カーディフ（イギリス）に行ってきました

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

November / 11 / 2022 # 116

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『カーディフ（イギリス）に行ってきました』

[2] Pepeのひとりごと

『無事に普通に過ごせましたよ』

[3] おすすめ動画

『Mark's Mouthpiece Christian Lindberg』

『[PMF 2019] Open Master Class III -Trombone- [PMF Connects 2020]』

[4] 演奏のヒント！

『リップスラー』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『カーディフ（イギリス）に行ってきました』

11月1日から9日まで、イギリスのカーディフに行っていました。

カーディフとは、ロンドンから電車で西に2時間ほど行った、ウェールズ地方の町です。

目的は、オーケストラでの演奏のためでした。

オーケストラは、BBC National Orchestra of Walesです。

今回は、2演目のリハーサル&収録で、一つは作曲されたばかりの新曲で、そのプロモーションに使うための収録（録音と録画）でした。2つ目ののは、はっきりとはわからないんだけど、聞いてみたところ、どうやらCDのレコーディングだったそうです。:)

初めてのちゃんとしたイギリス上陸、そしてイギリスのオーケストラでの演奏。

すごくワクワクして準備をしていましたし、実際にとっても充実した時間を過ごすことができました！！:D

とっても素晴らしいプレーヤーがたくさんいて、とってもいい刺激を受けましたし、実際に自分の成長できたと感じています。

この経験を今後活かしていくのはもちろんですが、今回は、こういう経験が生きている間にできて、本当にラッキーだったなあ、といろいろなことに感謝しています。

実は、また近いうちに行くことになりそうなので、またそのときに向かってしっかりと練習していこうと思っています。

[2] Pepeのひとりごと

『無事に普通に過ごせましたよ』

先月のここで書いた心配事、覚えていますか？
イギリスへ行くことに関しての、英語の心配でした・・・。

いろいろと心配ではあったのですが、実際にはなんとかなりました。

聞き取れなくて「どこから（吹くの）？」って隣に聞くことも何回かありましたが、隣の人（もちろんイギリス人）も「さあ？」っていうときもあったし（笑）、隣にトランペットの人から「どこから？」と聞かれて教えてあげることもあったので、結果としては普通にできてたのだと思います。:)

演奏は、もちろんバッチリやってきましたよ！

しかし、やっぱり英語はイギリス訛りとウェールズ訛りのダブルパンチで、日本人の僕にとってはなかなかない環境でした（ホテルの中では、常にテレビをつけて、英語を耳にするようにしていました）。

街を歩いていて通り過ぎる人たちの（家族での）会話などは普通に聞き取れるのに、ホテルなどで自分の説明が必要なことを聞いているときには全く聞き取れなくて焦ったりもしました。

どうして・・・?? (涙)

自分に関係あることに限って早口の人だったのかなあ???

ともあれ、すべての日程を無事に楽しく過ごせたのでよかったです。 ;)

[3] おすすめ動画

『Mark's Mouthpiece Christian Lindberg』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=nCZGMP8b5cM&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3)

[v=nCZGMP8b5cM&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3](https://www.youtube.com/watch?v=nCZGMP8b5cM&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3)

今月の1つ目の動画は、TromboneのChristian Lindberg氏のインタビューです。

彼のソリストとしてやっていこうとした経緯や、当時の様子など、貴重な話をしてくれています。

こういう話が聞けるって、本当にいい世の中になってきましたよねえ。 ;)

『[PMF 2019] Open Master Class III -Trombone- [PMF Connects 2020]』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=xdrPkrlg3U&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4)

[v=xdrPkrlg3U&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4](https://www.youtube.com/watch?v=xdrPkrlg3U&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4)

2つ目の動画は、2019年のPMFでのマスタークラス (Trombone) の動画です (先月紹介した動画は、この1年前のものでした)。

講師は、NYメトロポリタン歌劇場管弦楽団のDenson Paul Pollard氏です。

彼とは、フランスのパリで開催されたITF(International Trombone Festival)のときに一度だけ会ってほんの少し話しましたが、とってもいい人でしたよ。 ;)

やっぱり、他の人のレッスンを見る (聞く) のは、とても勉強になりますねえ。

若い人たちにも、どんどんといろいろな人のレッスンを受講、聴講していってもらいたいと強く思います。 ;)

[4] 演奏のヒント！

『リップスラー』

今月は、リップスラーについて。

リップスラーも大切な練習の一つだということは、多くの人が認識していることかと思えます。

でも、リップスラーと一言で言っても、練習をするときに気をつけるポイントや、人によって、そしてその人のレベルによって気をつけるべきポイントというものも違ってくるものだと思います。

今日はその中の一つのポイントについて書いてみますね。

その方法は、「1つの音だと思ってリップスラーをやる」ということです。

たとえば、3つの音でリップスラーをするとします。
そのとき、3つの音を吹くイメージで吹くのではなくて、1つの音を吹くイメージで吹いてみるんです。
具体的な表現をすると、息の流れをしっかりと維持して吹く、ということなのですが、これが、頭でイメージができてもなかなか実際にいい感じにできることが難しかったりするんです。

言い換えると、一つの音が3色に変わっていく、という感じでしょうか？
まずは一つの音をロングトーンをして、テンポを感じながら、色が変わっていくイメージで吹いてみます。
そのあと、実際に同じタイミングで音を変えながら3つの音でリップスラーをしてみます。

イメージとしては、「音が変わる＝色が変わる」という感じです。
息のスピード維持して、という意識で吹くよりもナチュラルにできる人もいると思うので、試しに一度やってみてくださいね。 ;)

編集後記

無事にイギリスへ行って、やるべきことをやってきました！
イギリスの、一流のオーケストラで演奏ができる機会なんて
そうないものなので、今回は本当に貴重な経験ができました！ :D

とっても素敵な会場でのリハーサル&収録で、温かい人たちと一緒に
本当にいい時間を過ごすことができました。 ;)

まだいつになるのかわかりませんが、また行けそうなので、
今から楽しみです！！

僕が行っていた期間のカーディフの天気は、ほぼ雨。
でも、一日の気温が9°Cから12°Cとかの間で、一日の気温差が
3°Cくらいしかなかったのは、過ごしやすかったです。
自分はこういう気候が過ごしやすいのかぁ、と新しい発見でした（笑）。

今月はまだ半分以上ありますが。
これからはばらくは、少しゆっくりじっくり過ごしていこうと
思っています。

最後に、今回、発行が間に合わず、日付が変わってしまいました・・・。
次回からはしっかりがんばるぞ！

いつも購読、ありがとうございます。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>